

第 39 回国立大学法人筑波大学学長選考会議議事録

I 日 時 令和元年 5 月 22 日（水） 16 時 30 分～17 時 30 分

II 会 場 学士会館 3 階 320 号室

III 出席者 河田悌一、菊池 功、岸 輝雄、工藤智規、小林 誠、齋藤 康、住川雅晴、花井陳雄、ブルース ストロナク、松村栄子、青木三郎、阿部 豊、太田 圭、小川園子、加藤和彦、加藤光保、佐藤 忍、西保 岳、松本 宏、溝上智恵子、茂呂 雄二、金保安則、BENTON Caroline F.、稲垣敏之、原 晃

IV 議 題

- (1) 前回議事録の確認について
- (2) 令和元年度（2019 年度）における審議事項について
- (3) 学長の任期に関する意見・論点等について
- (4) その他

V 配付資料

- (1) 第 38 回学長選考会議議事録（案） ----- [資料 1]
- (2) 令和元年度（2019 年度）における審議事項について ----- [資料 2]
- (3) 学長の任期に係る意見・論点等について ----- [資料 3]
- (4) これまでの筑波大学長の任期について ----- [参考 1(資料 3 関係)]
- (5) 再任の制限のない国立大学について ----- [参考 2(資料 3 関係)]

VI 議 事

- 1 前回議事録の確認について
資料 1 の第 38 回学長選考会議議事録（案）は、原案どおり確認された。
- 2 令和元年度（2019 年度）における学長選考会議の審議事項について
議長から、資料 2 に基づき説明があった。
- 3 学長の任期に関する意見・論点等について
議長から、資料 3 に基づき説明があり、委員から、以下の発言があった。
 - ・ 学長の通算任期や再任回数に関する規定を廃止することにより、改選時において適任と思われる全ての学長候補者から平等に選考する方法が良いではないか。
 - ・ その時点でベストな学長を選考するためにも、年齢制限を設けることは好ましくない。
 - ・ 独立した機関としてこの学長選考会議が設けられていることに意義がある。この会議が緊張感を持って適切な評価を行うことが重要である。
 - ・ 今後、学長選考会議においては、組織のガバナンスや次期学長の育成についても考えて

いく必要があると考える。

- ・ 現在の学長ありきで学長の任期等を議論していくことは避けるべきである。また、中期目標計画の策定や実施等との関係を踏まえ、制度設計していくことが重要である。

4 その他

事務局から、次回は6月25日（火）の経営協議会終了後に開催予定であることについて、説明があった。